

## [079\_04]法政研究表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/26259>

---

出版情報：法政研究. 79 (4), 2013-03-15. 九州大学法政学会  
バージョン：  
権利関係：

法政研究 第七九卷（一・二合併・三・四号）総目次

論 説

号 通頁

枉法と故意

九州大学大学院法学研究院教授 酒匂 一郎 一・二 一

——ラートブルフ・テーゼと裁判官の責任——

戦前期における附添人論（三・完）

九州大学大学院法学研究院准教授 武内 謙治 一・二 二〇八

——「少年保護」における公正さと社会性——

ローマ大衆の法知識

九州大学大学院法学研究院教授 五十君麻里子 三 二〇九

——プラウトゥス喜劇における「笑源」としての法

触法精神障害者に対する保安処分と遡及適用の可否について

九州大学大学院法学研究院准教授 井上 宜裕 三 二二九

——フランス破毀院判決を素材として

調停のための事例検討会

九州大学大学院法学研究院准教授 入江 秀晃 三 二五三

中立的社外者による会社情報収集と利害調整

九州大学大学院法学研究院教授 上田 純子 三 二九三

オルターナティブ論とヴァイマル共和国の崩壊

九州大学大学院法学研究院教授 熊野 直樹 三 三四一

「カラオケ法理」と「自炊」をつなぐもの

九州大学大学院法学研究院准教授 小島 立 三 三七三

——私たちが「コンテンツ」を享受する態様と、

その法的規整についての基礎的考察

旧・外地裁判所判例の今日的意義・序論

九州大学大学院法学研究院教授 七戸 克彦 三 四〇三

—— 活きている台湾高等法院・関東高等法院・

朝鮮高等法院判決

家事事件手続法における職権主義と手続保障

九州大学大学院法学研究院准教授 鶴田 滋 三 四八三

知的財産権のはたらきを探る試み

九州大学大学院法学研究院教授 寺本 振透 三 九三八

社会形成としてのシティズンシップ教育

九州大学大学院法学研究院准教授 蓮見 二郎 三 九一四

トルコのEU加盟の新たな課題

九州大学大学院法学研究院教授 八谷まち子 三 五一一

—— 「アラブの春」、そして…

調停者の「弱さ」が意味するもの

九州大学大学院法学研究院助教 兼重賢太郎 三 五二五

—— 調停者・当事者間関係に関する一考察

イギリス二〇〇三年刑事司法法における悪性格証拠の許容性

九州大学大学院法学研究院助教 高平 奇恵 三 五四九

調停における「傾聴と説得」

弁護士 法政大学法科大学院兼任教授 上原 裕之 三 五八五

梶の浦ミディエイション

弁護士、桐蔭法科大学院教授 大澤 恒夫 三 六一一

—— 「社会資本整備をめぐる合意形成」及び

「熟議民主主義」からの示唆を交えて

日本の家事調停制度とウイン・ウイン型調停の統合

弁 護 士、大塚 正之 三 六四一

—— 家事紛争解決プログラムの策定について

早稲田大学大学院法務研究科教授

面会交流とレビン教授式同席調停

弁 護 士 梶村 太市 三 六六七

—— 最近の法制度改革を踏まえて

中国特許法における遺伝資源保護制度に係る一考察

交渉、調停前置合意について

我が国の家事調停制度の基本構造

裁判官の感情制御とその技法

ADRにおける規範と評価

自治体オンブズマン制度の存在理由を考える

——熊本市オンブズマン制度を手がかりとして

無過失補償理念導入の二つのモデル

——スウェーデンとフランスの医療事故補償制度

少年に対する保護処分<sup>1</sup>の保安処分性（一）

——フランスにおける「教育的制裁

(sanctions éducatives)」概念を素材として——

東海大学法学部准教授 田上麻衣子 三 六九三

国土館大学法学部教授 中村 達也 三 七二三

さいたま地方裁判所・さいたま家庭裁判所  
川越支部判事、元東京家庭裁判所判事 松原 正明 三 七五七

広島大学大学院社会科学部研究科准教授 宮永 文雄 三 七八三

京都大学大学院法学部研究科教授 山田 文 三 八〇七

熊本大学名誉教授 吉田 勇 三 八二三

早稲田大学大学院法務研究科教授 和田 仁孝 三 八五五

九州大学大学院法学部研究科准教授 井上 宜裕 四 九三九

研究ノート

フランスにおける保安監置及び保安監視をめぐる近時の動向

九州大学大学院法学部研究科准教授 井上 宜裕 一・二 四七

資料

一九世紀フランス法における「妻の法定抵当権」の概要(一) 九州大学大学院法学研究院准教授 香山 高広 一・二 七三

——オプリー＝ローの所説をよりどころに——

ミシェル・ダンティジュアン著「不可抗力」(外国文献紹介) 九州大学大学院法学研究院准教授 井上 宜裕 一・二 一〇三

憲法院二〇〇八年二月二一日裁決第二〇〇八―五六二号 フランス刑事制裁研究会 訳 一・二 一一一

(保安監置及び精神障害を理由とする刑事無答責の宣告に

関する二〇〇八年二月二五日の法律第二〇〇八―一七四号)

行刑公役務に関する職業倫理規程に係る フランス刑事立法研究会 訳 一・二 一三七

二〇一〇年一月二三日のデクレ第二〇一〇―一七一―一

一九世紀フランス法における「妻の法定抵当権」の概要(二) 九州大学大学院法学研究院准教授 香山 高広 四 九六三

——オプリー＝ローの所説をよりどころに——

クリスチャン・イエーガー「法におけるパラダイム転換 九州大学大学院法学研究院准教授 野澤 充 訳 四 一〇八六

としての敵——法治国家防衛のための手段としての

敵味方刑法の存在と有用性について」

虐待されまたは心理的に遺棄された子どもの保護に関する フランス刑事立法研究会 訳 四 九九一

一八八九年七月二四日の法律

判例研究

社会法判例研究

公法判例研究

民事手続判例研究

社会法判例研究会 一・二 一五一

九州公法判例研究会 四 一〇〇三

福岡民事訴訟判例研究会 四 一〇一九

著作目録

吾郷眞一教授 著作目録

レビン小林久子 著作目録

四

四